

各位

上場会社名 日本精密株式会社
 代表者 代表取締役社長 岡林 博
 (コード番号 7771)
 問合せ先責任者 執行役員 田崎 政己
 (TEL 048-225-5311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,050	123	122	125	9.96
今回発表予想(B)	1,990	83	102	97	7.74
増減額(B-A)	59	40	20	27	
増減率(%)	2.9				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,626	56	68	6	0.63

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,956	113	119	113	9.00
今回発表予想(B)	4,475	37	10	11	0.91
増減額(B-A)	481	76	109	102	
増減率(%)	9.7	66.9	91.5	89.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	5,003	144	150	43	4.08

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,231	107	82	125	9.94
今回発表予想(B)	1,112	79	63	83	6.60
増減額(B-A)	119	28	18	41	
増減率(%)	9.6				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	1,718	11	62	141	13.80

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,136	54	0	114	9.02
今回発表予想(B)	2,675	76	27	25	2.04
増減額(B-A)	460	22	27	88	
増減率(%)	14.8			77.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	3,159	36	58	68	6.45

修正の理由

(1)平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想の修正理由

当第2四半期累計期間においては当初予想より消費が低迷し、売上高は、1,990百万円となり前回予想を59百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは消費低迷の影響を大きく受け297百万円となり67百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは新製品の受注増加が寄与し850百万円となり3百万円下回る見込みです。メガネ事業では、消費低迷の影響を受け、本社メガネ部門は113百万円となり112百万円下回る見込みです。これは欧州向け新製品開発点数が増加しましたが受注数量は減少し、また国内新規取引先からは受注が前回予想を下回ったことによります。子会社である株式会社村井のメガネ部門は541百万円となり107百万円上回る見込みです。これは国内大手上場企業向け及び韓国向けが前回予想を上回ったことによります。その他事業では187百万円となり16百万円上回る見込みです。これは子会社であるNISSEY VIETNAM CO., LTD.での釣具部品の受注増加及び国内での携帯電話用外装部品の受注の寄与があったことによります。

営業利益は、売上高減少による26百万円の減少と、販売費及び一般管理費の減少66百万円があり、前回予想を40百万円上回る見込みです。

経常利益は、営業利益の増加40百万円と、為替差損の発生20百万円等により前回予想を20百万円上回る見込みです。

四半期純利益は、経常利益の増加20百万円と、消費税還付による前期損益修正益等、特別利益25百万円及び遅延損害金等、特別損失18百万円があり、前回予想を27百万円上回り、97百万円の四半期純損失となる見込みです。

(2)平成22年3月期通期連結業績予想の修正理由

下半期においても消費低迷を予想し、前回予想を下回る見通しとなりました。

売上高は、4,475百万円となり前回予想を481百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは受注回復の兆しがありますが消費低迷の影響を大きく受け636百万円となり313百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは引き続き新製品の受注増加を見込み1,998百万円となり前回予想を6百万円下回る見込みです。メガネ事業では、本社メガネ部門は363百万円となり143百万円下回る見込みです。これは、欧州向けには新製品開発点数の増加と在庫調整のめどが立ち売上回復が見込めます。また国内新規開拓取引先からは取引開始による受注増加が見込めますが、前回予想を下回ると見込んでおります。子会社である株式会社村井のメガネ部門は1,075百万円となり25百万円上回る見込みです。その他事業では、国内での静電気除去器の減少を予想し402百万円となり43百万円下回る見込みです。

営業利益は、売上高減少による197百万円の減少と販売費及び一般管理費の減少121百万円により76百万円下回る見込みです。

経常利益は、営業利益の減少76百万円と為替差損等により109百万円下回る見込みです。

当期純利益は、経常利益の減少109百万円と特別利益25百万円、特別損失18百万円により前回予想を102百万円下回り、11百万円となる見込みです。

(3)平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正理由

当第2四半期累計期間においては当初予想より消費が低迷し、売上高は、1,112百万円となり前回予想を119百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは消費低迷の影響を大きく受け300百万円となり71百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは香港支店での新製品受注増加が寄与し614百万円となり72百万円上回る見込みです。メガネ事業では、消費低迷の影響を受け、本社メガネ部門は116百万円となり115百万円下回る見込みです。これは欧州向け新製品開発点数が増加しましたが受注数量は減少し、また国内新規取引先からは受注が予想を下回ったことによります。その他事業は、携帯電話用外装部品の受注寄与がありましたが静電気除去器の受注減少があり、81百万円となり4百万円下回る見込みです。

営業利益は、売上高減少による減少23百万円と販売費及び一般管理費の減少51百万円があり、前回予想を28百万円上回る見込みです。

経常利益は、営業利益の増加28百万円と為替差損の発生等、営業外費用の増加10百万円により前回予想を18百万円上回る見込みです。

四半期純利益は、経常利益の増加18百万円と子会社の予想利益の増減による同子会社に対する貸倒引当金繰入見込または繰戻見込の増減(株式会社村井は繰戻見込63百万円から繰戻見込4百万円へ、NISSEY VIETNAM CO., LTD.は繰戻見込5百万円から繰戻見込31百万円へ)等による差引特別利益の増加22百万円があり、前回予想を41百万円上回り、83百万円の四半期純損失となる見込みです。

(4)平成22年3月期通期個別業績予想の修正

下半期においても消費低迷を予想し、前回予想を下回る見通しとなりました。

売上高は、2,675百万円となり前回予想を460百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは消費低迷の影響を大きく受け645百万円となり318百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは香港支店での新製品受注増加がさらに寄与し1,438百万円となり103百万円上回る見込みです。メガネ事業では、消費低迷の影響を受け、本社メガネ部門は371百万円となり175百万円下回る見込みです。これは欧州向けには新製品開発点数の増加があり在庫調整もめどが立ち売上回復が見込めます。また国内新規取引先からは新たな受注が見込めますが前回予想を下回ると見込んでおります。その他事業は、携帯電話用外装部品の受注寄与がありましたが静電気除去器の受注減少があり、220百万円となり70百万円下回る見込みです。

営業利益は、売上高減少による減少119百万円と販売費及び一般管理費の減少97百万円があり、前回予想を22百万円下回る見込みです。

経常利益は、営業利益の減少による22百万円と為替差損の発生等、営業外費用の増加5百万円により27百万円下回る見込みです。

当期純利益は、経常利益の減少による27百万円と子会社の予想利益の減少による同子会社に対する貸倒引当金繰戻見込または繰戻見込の増減(株式会社村井は繰戻見込5百万円、NISSEY VIETNAM CO., LTD.は繰戻見込83百万円から繰戻見込24百万円へ)等による差引特別利益の減少61百万円があり、前回予想を88百万円下回り、25百万円の当期純利益となる見込みです。

以上